

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



みんなとともに



十連休の初日、ある子ども園から頼まれて保護者の方を対象に講話をしてきました。題して「校長のつばやき」。昨年度の「学校だより」のいくつかをもとに、「子育てについて日ごろ考えていること」を話してきました。そう言えば、「校長のつばやき」コラムを最近載せていないなと思い、再開することになりました。講話の後、新入生獲得のため「学校PR」もしてきましたが、入学児童が増えたらいいな。



「避難訓練」

5月8日(水)3校時に、「地震がおきた」という設定で避難訓練を行いました。子どもたちは、教師の指示をよく聞き、無言で素早く避難することができました。

避難にかかった時間 2分42秒

※「避難開始」の指示から、人数の確認をしての「報告終了」まで

校長からは、「考えて逃げる」ことの大切さについて話をしました。関連して、「火事」では「火から遠くへ逃げること」「洪水」では「水がこない高いところへ逃げること」にも触れました。

「いざ」という時に「考えて逃げる」ことで、自分の大切な命を守ってほしいです。



「鼓笛激励会」

5月8日(水)の全校集会は、「鼓笛激励会」でした。3年生のエールの後、鼓笛パレードに参加する上学年の子どもたちが、「校歌」と「U・S・A」を演奏しました。

その後、校庭での行進の練習も始まり、市鼓笛パレード当日は、息の合った素敵な演奏・行進をお見せできることと思います。

市鼓笛パレード 5月15日(水) ※雨天時 5月16日(木)
 〈本校出演順〉 7番 〈演奏開始予定時刻〉 午前9時18分 〈演奏曲〉 「U・S・A」



【校長のつばやき】 その12 「昭和、平成、そして“令和”の時代へ」

遠い記憶…。私が子どものころ、まだ日本は貧しかった。テレビは白黒からカラーへの過渡期だったし、ズボンの膝が破れれば家で繕うのは当たり前だった。高度成長期を経て、日本は目に見えて豊かになった。「がんばること」に価値のある時代だった。

時代は平成に入り、「コンピュータの進化」は凄まじかった。昭和の終わりに買ったワープロは2行分しか見ることのできない液晶画面であったが、ほしくて買った大画面のワープロさえ、あっという間に陳腐化した。時代の最先端として買った自慢の携帯電話も、あの重さは今では笑話である。

そして、令和。「人工知能(AI)」の時代である。人間がロボットと共存する社会である。そんな時代を子どもたちは生きていく。もしかすると、より「人間らしさ」が求められる時代になるのかもしれない。そんなことに思いを馳せながら、子どもたちのために「今できること」に尽力する日々である。